

2026年5月25日、アスタナ市において、飯島大使とヴァヴィエルニヤ UNDP カザフスタン代表との間で、供与額4.65 億円対カザフスタン無償資金協力「カスピ海の水位低下に対応するための水資源管理能力強化計画（UNDP 連携）」に関する協力文書の署名・交換が行われました。

本プロジェクトは、気候変動や人間活動等の影響によるカスピ海の深刻な水位低下に対応するため、国境を越えたデータ共有や政策対話を通じて、カスピ海沿岸国間の協力強化及び水資源管理能力の向上を図るものです。また、モニタリング能力の強化等を通じ、地域の環境レジリエンス向上を目指します。

